





<山領> 新井さんもそうした時期があったんですね。先輩の経験談に励まされます！ 採用試験についてもお聞きしてみたいのですが、新井さんはいつ頃から勉強を始められましたか？



筆記の勉強と面接の練習を一緒にやるのが、おすすめの勉強法！

<新井> 3年生の夏ごろから基礎学力の勉強を始めて、実習中はストップして、明けてから今度は学習指導要領の勉強を進めました。例えば模試で10番以内に入ろうっていうような目標を立てて、暗記ものはひたすらノートに書いて覚えるというやり方でしたね。でもそれだけだと気分が乗らない時があるので、法律とかは声に出して話しながら覚えるようにもしていました。結局、自分がちゃんと理解して覚えているものは話せるし、理解できていないものは話せないんですよ。最終的に面接の場では絶対に話さないといけないし、時間に限りがある中で筆記と面接を分けて考えるのもったいないと思って、話す練習をしながら覚える作業をしていました。

<山領> なるほど...！ 私も試してみようと思います。面接ではどんなことを聞かれましたか？

<新井> 教員を目指した理由はやっぱり聞かれます。それはみんなある程度似通うところだと思うので、僕は地域安全マップを作成したボランティアのことをしっかり伝えるようにしました。「地域安全マップ」はキーワードとしても珍しいので面接官の方も気に留めてくださり、会話が弾みましたね。筆記にしても面接にしても受かることがゴールではなくて、受かった後に先生としてどう経験を積んでいくかが重要だと考えていたので、自分自身が後悔しないようにやり切って受かろうと思いながら勉強していました。



勉強と学生生活、習い事やアルバイトの両立は難しいですか？

<山領> 確かに、自分の考え次第でモチベーションも大きく変わるような気がします。私は先程も少しお話したよう



初任時は5年生、次は2年生、そして3年目では再び5年生を担当。どの学年であっても、子どもたちの個性に寄り添って信頼関係を築けるようにしています。



授業では、難しい問題に対して「分からない」「分からないから教えて」と子どもたちが素直に言えて、教え合える雰囲気を作ることを大切にしています。



職員室では、授業の準備や先生同士で打合せを行います。運動会の全体指揮の担当をした年は、その準備も併せて行っていました。

に、勉強と習い事とアルバイトのバランスがなかなかうまく取れないのが悩みです。習い事はバトントワリングを選手として本格的にやっているの、練習に集中すると勉強やアルバイトの時間が割けなくて…。すべてを両立させていくのは、教員採用試験の勉強をするうえで難しいでしょうか。

<新井> 僕は野球部に入っていたけど、3年生の秋から採用試験が終わるまでは練習もなかったし、でもリーグ戦には行って適度にリフレッシュができたなと思います。アルバイトは勉強期間は辞めて、採用試験が終わった後にまた始めましたね。何かを諦めるということではなくて、少し休憩するっていう考え方はどうかな？ 僕自身も平日に勉強を頑張る分土日は勉強していなかったから、メリハリも大事なんだと思います。

<山領> ありがとうございます…！ 自分なりにベストなバランスを探してみようと思います。新井さんは、仕事のやりがいをどんな部分に感じられていますか？

<新井> 先生としてのやりがいは、クラスでどれだけ楽しく授業ができるかということと、子どもが問題を解いたり分かったりした時に喜びや達成感を感じているのが伝わってきた時ですね。ただ、それ以上に自分のモチベーションになっているのは、子どもが笑って学校に来て、笑って帰っていくことです。社会人1年目の時は、1人の子どもに意識が向くと他の子どもにまで思うように目が向けられなくなったりしてしまうこともありました。子どもとの信頼関係を築くのは決して簡単ではないですけど、しっかり話を聞いて向き合って、少しずつ関係性を深めていくことが大切なのかなと思います。

<山領> 先程、新井さんが実際に授業をしている様子を見て、子どもたちは問題を解く時間は真面目に取り組んでいるし、みんなが発言しやすい空気もあるし、温かい雰囲気クラスだなと感じました。私もまずは実習と勉強を頑張っていこうと思います。今日はありがとうございました！